



濱中 誠氏に 旭日双光章



濱中 誠氏

平成26年秋の叙勲が、平成26年11月3日に発令され、元(財)日本バドミントン協会理事、愛媛県バドミントン協会顧問の濱中誠さん(85)が旭日双光章を受章されました。

旭日双光章とは「社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者を表彰する場合に授与する」もので、勲章、勲記の伝達、拝謁は、11月13日(木)午後に 皇居宮殿にて行われました。

濱中 誠氏の略歴

昭和5年生 85歳

昭和25年 丸善石油松山研究室に入社
昭和58年 丸善石油を定年退職
昭和57年 松山市内にラケットショップ
ハマナカを次男と開店
昭和63年 新居浜市に長男と新居浜支店を開店

団体役員歴

昭和35年～55年
松山市バドミントン協会理事長
昭和56年～
松山市バドミントン協会副会長
昭和35年～50年
愛媛県実業団バドミントン連盟理事長
昭和51年～57年
愛媛県実業団バドミントン連盟副会長
平成5年～23年
愛媛県実業団バドミントン連盟会長
昭和38年～57年
日本実業団バドミントン連盟理事
昭和44年～55年
愛媛県バドミントン協会理事長
昭和56年～平成14年
愛媛県バドミントン協会副会長
平成15年～16年
愛媛県バドミントン協会会長
平成17年～現在
愛媛県バドミントン協会顧問
昭和46年～53年
愛媛県体育協会理事
昭和46年～59年
日本バドミントン協会理事

主な受賞歴

昭和46年

日本実業団バドミントン連盟功労賞

昭和47年

日本実業団バドミントン連盟技能賞

昭和54年

日本バドミントン協会功労賞

昭和58年

松山市体育指導委員会永年勤続表彰

昭和60年

松山市スポーツ功労賞

平成3年

愛媛県体育功労賞

平成9年

文部大臣杯体育功労賞

松山市スポーツ優秀選手賞 2回

愛媛スポーツ賞 23回

主なバドミントン大会入賞歴

国際大会

平成元年

世界シニアバドミントン選手権大会

60歳男子単優勝

平成9年

第26回台湾オープンバドミントンシニア大会

65歳男子単優勝、65歳複優勝

平成11年

第28回台湾オープンバドミントンシニア大会

70歳男子単優勝、70歳複準優勝

全国大会

全日本実業団バドミントン選手権大会

昭和44年7月 第19回40歳単優勝

昭和46年2月 第20回40歳単優勝

昭和46年7月 第21回40歳単優勝

昭和48年 月 第23回40歳単優勝

昭和49年6月 第24回40歳単優勝

全日本社会人バドミントン選手権大会

昭和47年5月 第15回40歳複優勝

昭和54年8月 第22回50歳複優勝

昭和56年7月 第24回50歳複優勝

昭和56年7月 第24回50歳単優勝

全日本シニアバドミントン選手権大会

平成 2年 月 第7回60歳複優勝

平成 3年11月 第8回60歳複優勝

国民体育大会出場

愛媛県バドミントン選手として 4回

愛媛県バドミントン監督として 8回

バドミントン競技役員として 3回

愛媛県内大会

昭和44年～48年

実業団バドミントン選手権大会(団体)

5年連続優勝

昭和38年～47年

愛媛県バドミントン選手権大会

成年単10年連続優勝

昭和48年～50年

愛媛県バドミントン選手権大会

壮年単3年連続優勝

(大会入賞歴は抜粋しております)

全国高等学校選抜バドミントン大会 四国地区予選会(平成26年12月22・23日 県総合公園体育館) 男子の部 優勝 愛媛県代表 新田高等学校 女子の部 準優勝 愛媛県代表 新田高等学校

★ 愛媛県 男子代表 新田高等学校 2年ぶり6回目の優勝に導いた男子 徳永監督に新田高校の強さの秘訣を聞く！！

Q 強さの秘訣は？

A 愛媛県のジュニア選手のレベルが向上していること。また、毎年、県内外から志をもって入部してくれる選手がいることが一番の理由。選手がチームの考え方を理解して主体的に行動・練習しようと心掛けていることも挙げられると思う。ジュニアクラブや中学校の指導者のご努力と成果に敬意を表しますとともに、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。



Q 選手層の厚さ？

A バドミントン競技に打ち込むという選手だけでなく国公立や難関大学進学とインターハイ・全国選抜大会へ出場(活躍)の両方に挑戦したいということで入部者も増えてきたことが、層の厚さにつながっていると感じる。

Q チームの自慢

A シャトルを拾う粘り強さ。(主将・西野 勝志より)

Q 全国大会に向けて

A 3月までに、もう1段階ダブルスのレベルを上げ、『メダルを獲る』と、言うチームの目標を達成する。

Q 監督から見た選手

A 指導やアドバイスを真面目に受け止め、自分の進学目標を見据えて勉強とバドミントンの両立に努める姿はとても良いと感じている。更に今後も主体性を発揮して、一戦一戦勝ち上がるためには どのような工夫をすれば良いか、ということを考えてながら取り組めば、もっと実力がつくはず。勉強もバドミントンも。

○ シングルス 西野選手

努力は誰もが認めるところ。授業も部活動も妥協せずに取り組んでいるところが、ゲームの苦しい場面で自分の力になっていると思う

○ シングルス 中川選手

チーム力(戦力ということだけでなく)を高めている選手の一人。持ち前の『相手に向かっていく気持ち』を武器にメダル獲得の一翼を担って欲しい。

○ ダブルス 西野・田中ペア

まだまだ成長途中ではあるが、お互いの特長を合わせながら結果をだせていることは良いことだと思う。3月までに課題を克服して、メダル獲得の原動力になって欲しい。

今大会 三冠に輝いた 西野選手に聞く

Q 三冠達成

A 昨年負けた団体戦で勝てたことが一番うれしいです。パートナーのおかげで3-0勝ちにもって行けましたが、自分の力が出し切れなかった場面もあるので、反省しています。

Q 日頃の練習時、何を考え練習しているのか？

A 常に試合を想定して練習をしています。特に精神的に自分を追い込み、どんな苦しい状況でも頑張れるように取り組んでいます。



Q 全国大会にむけて！

A 3月の全国選抜大会はメダルを獲得するチャンスです。団体戦でメダルを取りたいです。そのためには、単、複ともに力をつける必要があるので、がんばります。



西野選手

中川選手

西野・田中選手

今大会は準優勝に終わり、四国ブロック2位。全国選抜大会に臨む、新田高校女子・久枝監督に聞く。

Q 今大会、準優勝に終わり 何が足りなかったのか？

A フットワークのスピード、シャトルタッチのスピードが足りなかった。特に早いタッチでのカットやスマッシュをサイドに打たれるとノータッチで決められることが多かった。

Q チームの自慢

A 苦しい時に支え合うことが出来る事。(主将・伊野紫惟)

Q 全国に向けて

A 全体的にスピードをもっと上げて、速いラリーに対応できるようにしていきたい。また、シャトルのコースが甘いので正確にライン際にシャトルを送れるよう改善していきたい。



開会式 選手宣誓 西野・伊野選手

最後に新田高校バドミントン部長に『これからの高校生』が愛媛国体の主軸となってきますが、全国制覇に近づくか？

A まず、心、技、体、戦術のすべての面でのレベルアップは必要ではあるが、一試合一試合での気づき・学びを次の試合や練習に生かし、試合で持っている力を全て出し切ることが出来るようになることも重要ではないかと考える。また、全国制覇という『登ったことのない山』への挑戦に対して、どういう準備が必要なのかということを私たち指導者も学ぶ必要がある。

新田高校 バドミントン部紹介

初代部長・福岡俊作先生のご努力により、同好会でスタートして2年目で県大会 優勝を成し遂げ、平成2年度にバドミントン部に昇格した。

平成11年度より出井 康隆先生が部長を務められ、平成26年度より、部長を 徳永 督先生(男子監督)、副部長を久枝ゆい先生(女子監督)が務めている。また、現在、出井先生は、愛媛県少年女子 国体監督として強化に携わっている。

『全国大会でのメダル獲得』を目標に、バドミントン競技を通じて実社会で通用する人間力を身に付けることを目的として、日々練習に取り込んでいる。

男子バドミントン部

インターハイは平成4年に団体初出場。現在、8年連続16回出場(平成15・25年 ベスト8入賞)
全国選抜大会は4年連続11回出場

女子バドミントン部

インターハイは平成5年に団体初出場 現在、12年連続14回出場
全国選抜大会 平成16年度にベスト8入賞